

第74回 全国高等学校駅伝競走大会出場報告

秋工陸上競技部父母の会

全国駅伝募金委員会 後援会代表 渡邊 信一／OB会会長 中川 衛／父母の会会長 細谷 清俊



お礼の言葉

立春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび京都府京都市で開催されました第74回全国高等学校駅伝競走大会の出場に際しまして、皆様から格別のご支援とご声援を賜り、心から感謝申し上げます。

今大会に於いて11年連続29回目の全国大会出場となり、8位入賞を目標に日々の練習をし大会に挑みましたが、31位と目標達成とはなりませんでしたが。

しかし部員全員が自分の役割を認識し、選手は最後まで諦めることなく力強く走り、櫓を繋ぐことが出来たと思います。

今後は、次の目標達成に向け、これからも部員全員が精進してまいります。

皆様のご支援に心よりお礼申し上げます、大会と募金報告に代えさせていただきます。

御礼

秋田県立秋田工業高等学校陸上競技部

監督 高橋 正 仁

第74回全国高等学校駅伝競走大会出場に際し、多くの方々から御支援と御協力を頂き、心より感謝と御礼を申し上げます。

令和5年度は『全国高校駅伝入賞』を目標に『初志貫徹』をテーマに掲げて頑張ってきました。結果として31位でしたが、出場した生徒を含め部員全員がそれぞれの役割を全うしてくれたと思っています。皆様に御支援を頂き、結果を求められる中で、結果を出せなかった事に私自身の反省があります。

高校駅伝の高速化がより一層顕著になってきており、5000mのタイムも大学生レベルになりつつある中で、全国で競う為にはやはり『人としての成長』が必要不可欠な部分だと感じています。第75回大会に向けて、より一層『凡事徹底』を基本として、人としての成長を図りながら日々の練習及び生活に取り組んでいく所存です。これからも秋田工業高校陸上競技部に対する御支援と御協力の程、宜しくお願い致します。

全国高等学校駅伝競走大会を

振り返って

秋田県立秋田工業高等学校陸上競技部

主将 細 谷 流 音

全国高校駅伝では、「8位入賞」を目標に掲げ、部員一丸となって臨みました。結果は31位となり、悔しさの残る大会となりました。

序盤から苦しい展開のレースとなり、全国の壁の高さ、そしてレースの流れの重要さというのを実感しました。しかし、本大会へ向け一年間努力してきたことや今回の経験、悔しさは、部員全員の今後の競技、人生において必ず意味のあるものになると思います。

後輩たちには、本大会での悔しさ、想いを胸に来年こそは目標を達成できるよう、感謝を忘れずそして覚悟を持って頑張ってほしいと思います。

最後になりますが、沢山のご支援とご声援、本当にありがとうございました。

第 74 回全国高等学校駅伝競走大会出場募金決算報告書

収 入	7,643,314 円
支 出	7,470,890 円
残 額	172,424 円

《収入額》

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	備 考
寄 付 金	8,000,000	7,643,303	募金延べ人数 1640 人
雑 収 入	1,000	11	受取利子
計	8,001,000	7,643,314	

《支出額》

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	備 考
選手・応援派遣費	2,600,000	2,626,469	選手交通費・宿泊費 他
装 具 費	2,200,000	2,148,300	大会出場に伴う用具・ 選手ブレーカー・シューズ・ジャージ 他
強 化 費	1,700,000	1,205,294	強化練習費・栄養補給補食費 他
募 金 費	1,300,000	1,298,209	趣意書・芳名簿・領収証・報告書・郵送費 他
雑 費	200,000	192,618	新聞広告費・振込手数料 他
予 備 費	1,000	0	
計	8,001,000	7,470,890	

残額については、今後の陸上競技部の強化費として活用させていただきます。

令和5年度 秋田工業高校駅伝



3年生部員



1区 高橋 楓河



2区 成田 太陽



3区 細谷 流音



4区 野村 汰輝



5区 田中 佑空



6区 黒澤 海羽音



7区 高橋 大成